

レポート：TOEIC® TEST スーパーコーチ@DS の現場

立命館大学 映像学部インタラクティブ映像制作実習—— 米光一成 教授

2009年12月のある日、立命館大学衣笠キャンパスの情報演習室では、激しいROCKのリズムが流れるなか米光一成教授の授業が始まった。「インタラクティブ映像制作実習」では、学生たちがグループに分かれて携帯電話、Web上のゲームの実制作を行なっている。Twitter でつぶやき放題というこの授業、ゲーム制作会社の一会社員、自主制作アニメ作家である他大学の学生など多彩なゲストがしばしば訪れることも常識の枠にはまらないものだ。

この日は、発売前の「TOEIC® TEST スーパーコーチ@DS」のモニター評価が行われた。「前にも言ったように、評価は感想文じゃない。よい点と悪い点をそれぞれしっかり自分の言葉で説明しろよな」米光教授の指示でDSをプレイし始めたクリエイターのたまごたちは、すぐにゲームの特徴をつかんだようだ。「Jay先生の熱いキャラが親しみやすい」「解説が詳しいからヒントはなくてもいいかも」など、教室内を回る米光先生に次々に声かけられる。

学生たちにとって、米光教授はアニキのような存在のようだ。気軽に話しかけられる大先輩のサポートで、新しい世代のクリエイターたちが育っていくだろう。

立命館大学映像学部では、アート、テクノロジー、ビジネスを総合するアプローチで映像分野における「プロデュース」能力を育成し、社会の活性化と生活の向上につながる映像文化を創造する人材の育成をめざして、さまざまな研究・教育が行われている。





米光一成

「ぷよぷよ」「トレジャーハンターG」など数々の伝説のゲームを手がけてきたクリエイター。近年では表現力、発想力を鍛える講座を開くなど、教育活動にも熱心に取り組んでいる。「TOEIC® TEST スーパーコーチ@DS」では、ゲームデザインを担当。単調な学習にならないためのさまざまなアイデアを盛り込んでいる。